

鬼子母神前で祈祷する住職

# 鬼子母神大祭 子供の健やかな成長を祈る

岡・妙教寺のご住職になられました。三十八年に及び圓頓寺の隆盛に心をくだかれ、現在の莊嚴な境内を創造されました。そのご功績は県下にも名だたる名僧であられたと思います。英知上人が去られるのは誠に寂しい思いもありますが、圓頓寺の院首として常に温か

く見守っていただけのお聞きし、檀信徒一同どれだけ安堵した事でしょう。また、英人上人も父君を院首として仰ぎ、英知上人を超えてゆかれるよう期待しています。ご精進をいただき、檀信徒も異体同心となつて圓頓寺隆盛に励みたくいと存じます。合掌

昨年比べ春の訪れが遅い三月二十八日、子安鬼子母神大祭・春季彼岸会先祖総供養が行われました。子安鬼子母神大祭は、子供たちの発育成就・運命長久を願う大祭ですから、親子孫三世代でのお詣りや、子供さんを連れられた若い親御さん、お祖母ちゃんに手を



導師の住職と院首

ひかれたお孫さん始め、檀信徒の皆様と共に子安鬼子母神尊像に、子供の健やかな成長を祈りました。鬼子母神大祭・春季彼岸法要に先立ち、本年大荒行第参行を成満された福岡県朝倉市大安寺・秋吉英守上人をお題目で迎え、法話をいただきました。秋吉上人はまず、日蓮大

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街  
☎(0968)43-2282

お食事処



山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435

聖人ご遺文「法蓮抄」を読み上げられ、「南無妙法蓮華經」と唱えられた後、大荒行第参行を終え二月二十日に大安寺に帰山し、圓頓寺からも多数お詣りしたことに御礼を申され、大荒行の厳しさについて話されました。

平成二年に初行。二十年経て参行に行った。一〇〇日だけ留守宅も修行。平成七年大安寺に入り、大安寺でどういうことをしているかなければならないか、その為にはお経の貯金が必要と思ひ平成八年第再行に行つた。平成二十年に住職を拝命し、住職として身の置き方考える行として第参行に行かしてもらつた。午前三時の水行、読経から始まり、午後十一時まで一日七回水をかぶり、お経を読んで午

後十二時に電気が消える繰り返し。食事は行僧がつくるお粥とみそ汁を一日二回。

第参行の行僧は、一月九日甲子きのえねの日に、午前〇時から二時間三十分「丑とき」の密行をした。大黒様をお祭りし洗体をした。洗体する特別な方法がある。新品の五円玉を用意し、ある方法を使って黒豆と煮る。この水を使って大黒様を洗う。



上人吉秋の法話に手に福銭

使つた五円玉で福銭を作つて、参詣の檀信徒に財布に入れていてほしいと贈られました。甲子の日に黒豆、色菓子、お酒を供え、枡から大黒様を出して枡の上に置く。ということも話していただきました。

始めに読まれた「法蓮抄」は、法蓮法師という日蓮大聖人のお弟子さんにあてたご遺文で、自我偈は金色の文字五一〇字である。自我偈は亡くなった人の所に行く。お経をあげる尊さを説いてある。功德を積むチャンスです。妙教寺での修行時代物もらいを追い返して、師匠から諭された。徳も毎日毎日少しずつ積んでいかなければならない。徳を積んでいるか自分に問いかけて下さい。心掛けが大事。自我偈を唱える。お経を唱

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館

やすらぎの里



天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



合掌する子供

える。お題目を唱える。これが徳積みです。皆様の黒様も、英知上人の密行を得て各家に行かれました。大事にして下さい。英人上人も第参行に行かれると思うがこぞって応援して下さい。



お題目を唱える子供

さい。お経は先祖の所に届きます。とまとめられ、お題目三唱で法話を終わられました。総代さんの日程説明、東日本大震災募金のお願いがあり、休憩後、彼岸会先祖総供養法要、東日本大震災犠牲者慰霊法要が住職英人上人を導師に、院首英知上人ら五名のお上人により奉修され、恒例の婦人会代表



発育成就を祈る

による供膳の儀、檀信徒代表による写経の儀も行われました。檀信徒が見守り、うちわ太鼓とお題目の中、荒行僧による気合のこもった水行が行われました。子安鬼子母神尊像前で、英人上人ら三名のお上人により子供たちの発育成就・運命長久を願う法楽祈禱が子供たちも手を合せ祈る中

# アシスト

ASSIST

株式会社 アシスト ニッセイ同和損保(株)・日本生命・大同生命(株) 代理店

〒862-0947 熊本市画図町重富 361-3 Tel.096-214-4771 Fax.096-214-4773  
携帯090-2715-2274 <http://www.assist-kumamoto.jp>

行われ、木剣の音が響き、加持祈祷で頭、肩、背中を押ししていたかと、何かしら気持ち良さを覚えます。法要が終わって英人上人挨拶

# 予期しなかつた住職賞



住職賞をいただく阿蘇品さん

山鹿市中 阿蘇品タカ子  
父・母に代って立教開宗法要と大黒尊天祭にお参りするの今年で二回目となります。

その後、檀信徒は会館へ移動し、当番地区の方々、婦人会の方々心づくしのおときをいただかれ、帰路につかれました。(編集委員・谷)

立教開宗法要で、住職英人上人様始め五名のお上人様のお経を聞いていますと、大変ありがたい気持ちになります。続いて、院首英知上人様により大黒様が清められました。

法要が終わって会館へ移動しおときをいただきました。午後からは開運福引きがありました。初めに全員に賞品が当たる福引が行われ、次に子供特別福引がジャンケン大会であり、いよいよ特別福引です。個人の方が提供された賞品、お店の

方が提供された賞品、お寺様が提供された賞品などなど、番号が読み上げられるたびに胸がドキドキしていました。最後の住職賞となり住職様が「六十二番」と言われ、係りの方も「六十二番」と呼ばれ、私の番号だとドキドキして緊張してご宝前に出ました。「おめ

# 四十五年のお題目で総代賞



総代賞をいただく石井さん

でとうございます。住職賞です。』と、住職様から賞品の掃除機をいただきました。全く予期せぬことでした。これも父・母や先祖様のおかげだと感謝いたしております。

総代様、婦人会・当番地区・世話人の皆様ありがとうございました。合掌

山鹿市鹿本町庄 石井 宏美

『南無妙法蓮華経』とお題目を唱えるようになって早四十五年。お祖師様、ご先祖様に早朝よりお水・お茶・ご佛飯をあげて、お花の水を替えて毎朝お参りするの一日の始まりとなり、孫に伝えていきたいと近頃は思い、手を合せています。



今年も大黒天旗を迎える五月三日、菩提寺圓頓寺様の大黒尊天祭に参詣させていただきました、ありがたく本年も法要・福引に参加させていただきました。早めに行つて受付を済ませ法要が始まるのを待ちました。十時三十分より立教開宗七百五十九年の護法報恩会法要が、英人上人を導師に行われました。その後



木剣を切る住職上人ら

英知上人が導師となつて大黒尊天大祭の法要があり、英知上人がご宝前に飾られている子大黒様を一体一体清められ、ご出仕のお上人様から参詣者全員加持祈禱をお受けしました。お昼は、婦人会の方々、当番地区の方々が準備されたおときをいただき、休憩時間に婦人会のバザーでお赤飯と大黒餅を買い求め



大黒様を清める院首

したが、これも大黒尊天祭の楽しみのひとつでございます。いよいよ大黒尊天祭の福引です。参加の皆様の楽しそうな声が聞こえてきます。お世話人様方の乾杯と、英人上人の大黒尊天五徳の唱和で福引が始まります。一回目の福引はご宝前にお供えされ、毎日英人上人のお経を聞いていた色々な商品がご参加の皆様に当たります。二回目の福引は子供特別福引で、じゃんけん大会で予選、準決勝、決勝戦とあり、一位・二位・三位の子供さんに図書カードが英人上人から贈られ、すべての子供さんにお菓子が渡されました。いよいよ大人の特別福引です。賞品をご提供された方々から商品の紹介があり、

したが、これも大黒尊天祭の楽しみのひとつでございます。いよいよ大黒尊天祭の福引です。参加の皆様の楽しそうな声が聞こえてきます。お世話人様方の乾杯と、英人上人の大黒尊天五徳の唱和で福引が始まります。一回目の福引はご宝前にお供えされ、毎日英人上人のお経を聞いていた色々な商品がご参加の皆様に当たります。二回目の福引は子供特別福引で、じゃんけん大会で予選、準決勝、決勝戦とあり、一位・二位・三位の子供さんに図書カードが英人上人から贈られ、すべての子供さんにお菓子が渡されました。いよいよ大人の特別福引です。賞品をご提供された方々から商品の紹介があり、

**盛文社印刷**  
有限会社

山鹿市下町1807  
TEL 0968-43-2604  
FAX 0968-43-6075

**生活環境に、やさしい企業**

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 とらや商会

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990  
〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号



特別賞を手にした彰太郎君

# 嬉しかった一等賞

くじをひいて番号が発表されていきます。くじ運が悪い私は帰る用意をしていたところ、圓頓寺本総代賞で栗原総代様の「三十三番」という声をぼんやりと聞いていて、何回も「三十三番」と言われて、私の番号とハッ

と気づき急いでお祖師様の前に出て、栗原総代様から「商品券」をいただきました。本当にありがとうございました。年に一度の大黒様のご縁をありがたく思い、家に帰って家族で喜び合いました。南無妙法蓮華経

はらしょうたるう（六歳）

ぼくは、お寺に行くことがだい好きです。

よくじいちゃん達と、遊びに行ったり、お寺の行事では、大みそかの鐘つきや、鬼子母神さんには行ったことがあります。

今年は初めて家族みんなで大黒天祭に行きました。その中で、一番ビックリしたことは、この原稿用紙の



子供特別福引に参加した子供たち

当たった福引です。

『子供さんは前に出て来てください』と言われたので、お姉ちゃん二人とぼくの前に出ました。何をやるのかなあと思ったたら、ジャンケンでした。ジャンケンをして三回とも勝ち、何と一番になりました。とっても嬉しかったです。

また来年も行きたいです。（注：しょうたるうくんの話をお母さんがまとめられ



拝む心で尊い品を

# 梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具  
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9  
TEL (092)271-0456・FAX (092)271-0464

支店

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4  
TEL (092)806-7499・FAX (092)807-1079

◆E-mail [umetani@umetani-jp.com](mailto:umetani@umetani-jp.com)

◆HP <http://www.umeyani-jp.com>



特別賞を渡す和田さん

福引特別賞提供者

ました。)

(順不同、敬称略です)

圓頓寺住職、同(子供特別賞)、福岡・妙教寺、朝倉・大安寺、唐津・龍王寺、圓頓寺本総代会、圓頓寺婦人会、圓頓寺信行会、染と織おにき、井上組、熊日新聞

私にとつて

「奇跡」とは

信行会 和田 純夫

私は、毎月二十八日に行われる信行会に参加して四年になります。会では「私の御心が説かれている法華経」を、日蓮大聖人をおして学んでいます。会長の木下さん始め諸先輩の皆さま方は、快く仲間として手を貸して下さい、英人住職

手づくりのテキストをもとに、楽しく学ぶことができ感謝しています。

去る五月十四日、亡妻紀子の七回忌法要を英人住職を導師にお迎えしてとり行いました。私にとつて「奇跡」とも思える出来事がありました。六年前の通夜の受付で、「和田家の宗旨とは祭壇が違う」などと詰め寄って来た従姉がこの日、食事会の席で「紀子さんを偲ぶ歌をうたいます」と云って独唱してくれました。もう驚いてしまいました。またその日の夜、従姉から「とても良い供養ができたね」と電話がありました。従姉とは七年間年賀状だけの関係でしたが、思いがけず以前同様の素直な気持ちで感謝の心を伝えることができました。

航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3

早速仏壇の紀子へこのことを追加報告しました。これらの出来事を五月二十八日の信行会で、坊守さまと話をしました。「それはお題目の力なのですよ」と坊守さまはしっかりと分りやすく話され、とても嬉しく思いました。

## 日蓮宗のいろは I

### 仏教伝来

日本に仏教が伝来したのは、五三八年とされています。始めて法華経を講じたのは聖徳太子で、「法華経義疏」というものが伝えられています。聖徳太子は十七条の憲法で、「和をもって貴しと為す」と示されましたが、その基本には、仏教の教えを忠実に理解しようという姿勢が見られました。

私を圓頓寺へと導いてくれた菊川家と院首さま、ご住職さま、坊守さまと娘さん方始め檀信徒の皆様方から感謝し、「生かされている絆」と「お題目の力」を改めてかみしめているこの頃です。合掌 ありがとうございます。

### 日蓮宗の起り

日蓮宗は、日蓮大聖人を宗祖とされていることをご存知のとおりです。

日蓮大聖人は、一二五三年四月二十八日の明け方、清澄山頂の旭ヶ森より太陽に向かつて、『南無妙法蓮華経』のお題目を唱え、法華経信仰の確信と法華経弘通の請願をたてられました。

### 日蓮宗になったのは



旭ヶ森にたつ日蓮大聖人像

日蓮宗も日蓮大聖人生存当時から近代までは、法華宗また日蓮法華宗と称されていました。

日蓮宗という宗名が公称されたのは明治九年からで、日蓮宗初代管長になった「新居日薩」という方の時、公称許可を得たものです。

### 法華経は釈尊の教え

私たちがお唱えする『妙法蓮華経』という経典は、もともとインドで釈迦牟尼仏（お釈迦さま）が説いたも

婚礼・着付

# サンロード大住

山鹿市古閑 1286-3

☎ 44-6277



のです。お釈迦さまが生き  
た紀元前五世紀といえ、  
日本ではまだ縄文式文化の  
時代で、お釈迦さまは釈迦  
国の王子様として生まれま  
した。

### 日蓮宗の信仰の根源

日蓮宗が大切にしている  
お経は『妙法蓮華経』、縮  
めて『法華経』といえます。  
『法華経』は八巻二十八品  
といわれ、二十八の章に分  
かれていきます。『法華経』  
はお釈迦さまが説かれた教  
えです。日本では聖徳太子  
以来、国を護るためのお経  
として尊重されてきました。

### お題目は南無妙法蓮華経

日蓮宗といえ、お題目、  
お題目といえ、『南無妙法  
蓮華経』とは、檀信徒なら  
誰でも知るところですが、  
もともとお題目は『妙法蓮  
華経』です。しかし、教え

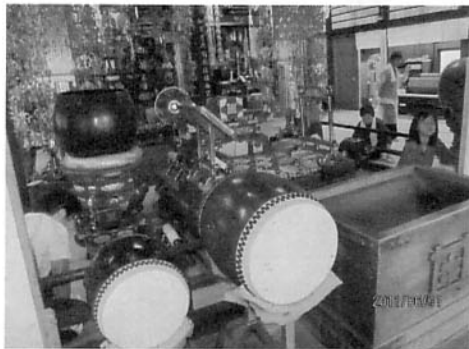
に心から従いますという意  
味で、日蓮大聖人は「南無」  
(帰命：身命をささげて仏  
陀に帰依する) という言葉  
を付けているのです。

### 重んじるのは法華三部経

日蓮宗で重んじているお  
経は、『法華経』のほか、  
『法華経』の開経といわれ  
る『無量義経』、そして  
『法華経』の結経といわれ  
る『観普賢菩薩行法経』で、  
みつつのお経を法華三部経  
といえます。

### 法華経が大聖人の根本

日蓮大聖人は、たび重なる  
迫害や法難に遭い、その  
都度『法華経』の予言通り  
なのに驚き、かつ自信を深  
めたのです。常に『法華経』  
を読み返し、『法華経』を  
行動の原点としていったの  
です。



導師席も綺麗にしました



雨の中墓地を掃除

## 夏季の大掃除



郷土に生まれて味ひとすじ

仏・祝会席・鉢盛・寿司



プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739  
仕出部 ☎ 44-5804

# お寺の行事

土用丑の日

七月二十一日午前十時

## お盆お施餓鬼法要

○当山では例年の通り、七月二十一日(木)に、ほうろく灸祈祷会、お盆お施餓鬼先祖供養法要を催します。

○特別の追善供養をささげるとともに、世界の恒久平和実現を祈る法要ですの  
で、お家族そろって御参詣ください。

○五十回忌供養・お盆・先祖供養・初盆  
供養の塔婆供養御希望の方は、早めにお申込み下さい。

- 一、施餓鬼三尺塔婆供養 二、〇〇〇円
- 一、特別六尺塔婆供養 五、〇〇〇円
- 記念法話(午前十時)
- ほうろく灸祈祷は、九時三十分と十二時にいたします。

十月十三日(木)

午前十時

## 御会式法要

宗祖日蓮大聖人がお亡くなりになった日で、大聖人の偉大なご生涯をたたえ、しのぶ大事な日です。

日蓮宗徒にとって一番大切な法要です。

御会式には御会式桜を奉納しますが、これは、大聖人が亡くなられたとき、時ならぬ桜の花が咲いたという故事にちなんでおり、全国のお寺で行われています。

十二月八日(木)

午前十時

## 荒神大祭

## お焚きあげ会

○一年間御護りいただいた三宝荒神(地・水・火)への感謝の法会。御先祖へ一年間の報恩感謝の供養をささげる日。

十二月十日(土)

## 合同大掃除

護持会、婦人会、信行会  
地区世話人、墓地所有者  
檀信徒合同奉仕

## 発行所

山鹿城趾  
湯の町てら

## 常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三一(二四二四)

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七八二八

電子メール: a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ: www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

## 盛文社印刷

☎ 四三一(二六〇四)

FAX・四三一(六〇七五)

メール: info-seibunsva@hyper.ocn.ne.jp